



サステナブル経営の推進に向けて 当社初のサステナビリティボンドを発行します

阪急阪神ホールディングスは、「環境」と「社会」双方の課題解決に貢献する事業の資金調達手段として、当社初のサステナビリティボンドを2021年12月に発行します。

阪急阪神ホールディングスグループでは、持続可能な社会の実現に向け、グループの取組の方向性を示すものとして、2020年5月に「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」を策定しました。それ以降、ESG（環境・社会・企業統治）に関する取組をこれまで以上に積極的に推し進めるとともに、お客様や地域社会等との信頼関係を構築しながら、事業を通じて社会課題の解決に努め、グループを挙げて持続的な成長を志向し、ひいては持続可能な社会の実現を目指しています。



大阪梅田ツインタワーズ・サウス（イメージ）

そうした中で、今般、「サステナビリティ宣言」の6つの重要テーマのうち「安全・安心の追求」「豊かなまちづくり」「環境保全の推進」に該当するプロジェクトである、「梅田1丁目1番地計画（大阪梅田ツインタワーズ・サウス）」にかかる資金の調達手段として、サステナビリティボンドを発行することとしました。

その概要は次ページ以降のとおりであります。

1. サステナビリティボンドの概要

名 称	阪急阪神ホールディングス株式会社第64回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (サステナビリティボンド) (別称: 阪急阪神ホールディングス第1回サステナビリティボンド)
発行総額	100億円
発行年限	5年 (予定)
発行時期	2021年12月 (予定)
資金使途	梅田1丁目1番地計画: ・「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」の建設資金 ・周辺公共施設の整備に係る建設資金 ・上記に関連したコマーシャル・ペーパーの償還資金
ストラクチャリング・エージェント	大和証券株式会社
主幹事証券会社	大和証券株式会社 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 SMB C日興証券株式会社 野村証券株式会社 みずほ証券株式会社

※「ストラクチャリング・エージェント」とは、サステナビリティボンドの発行にあたってのフレームワークの策定やセカンドオピニオンの取得等を通じて、サステナビリティボンドの発行支援を行う者のことです。

※その他詳細は、決定後にお知らせします。

2. フレームワークの策定及びセカンドオピニオンの取得

上記のサステナビリティボンドの発行にあたり、国際資本市場協会 (ICMA) が定めるサステナビリティボンド・ガイドライン等に基づき、以下の事項を記載したフレームワークを策定しました。

- ① 調達資金の使途
- ② プロジェクトの評価と選定のプロセス
- ③ 調達資金の管理
- ④ レポーティング

■サステナビリティボンド・フレームワークの開示先 URL

<https://hankyu-hanshin.co.jp/download/ir/stock/sustainability-bond/bond01/framework.pdf>









なお、このフレームワークは、株式会社格付投資情報センター (R&I) より、サステナビリティボンド・ガイドライン等に適合している旨のセカンドオピニオンを取得しています。

■R&I セカンドオピニオンの開示先 URL

https://hankyu-hanshin.co.jp/download/ir/stock/sustainability-bond/bond01/second_opinion.pdf

3. 資金使途

本サステナビリティボンドの発行により調達した資金は、梅田1丁目1番地計画（大阪梅田ツインタワーズ・サウス）が下表のとおり適格プロジェクトに該当することから、同計画に活用する予定です。

適格プロジェクト	該当するSDGs目標	概要
環境に配慮した建物 (グリーンビルディング)	 	<p>大阪梅田ツインタワーズ・サウスは、以下の認証や評価を取得、または取得見込みであることに加え、事業採択を受けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DBJ Green Building 認証5つ星 ・CASBEE 大阪みらいSランク ・CASBEE スマートウェルネスオフィスSランク ・サステナブル建築物等先導事業（省CO2先導型）
安全・安心のための 施設の提供  カンファレンスホール（大ホール） （イメージ）	 	<p>大阪梅田ツインタワーズ・サウスは、以下のとおり防災機能を強化することにより、利用者や従業員等の安全確保と、災害時の事業継続を実現します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進的な制振構造や、ビルの健全性を測定する「構造ヘルスマニタリングシステム」を導入 ・テナント向けに備蓄倉庫を設置 ・非常用電源（72時間の電源供給が可能）を設置 ・耐震性高架水槽の採用や非常時の地下水の利用（一部） ・津波対策を実施（重要基幹設備を9階以上に、防災センターを2階に設置） <p>加えて、災害時の一時避難・滞留スペースとして、屋上広場やカンファレンスホールを活用します。</p>
周辺公共施設の整備  東西地下道	 	<p>大阪梅田ツインタワーズ・サウスの周辺エリアにおいて、地下・地上・デッキレベルの3層で歩行者ネットワークを構築するとともに、バリアフリー化を推し進め、それらにより歩行者の快適性・利便性の向上や、周辺地域の活性化等を図ります。</p> <p>（地下）</p> <ul style="list-style-type: none"> 東西地下道の拡幅整備 敷地周辺のバリアフリー化 敷地周辺の地下道の整備 <p>（地上）</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地周辺の歩道の拡幅・美装化 広場空間の整備 <p>（デッキレベル）</p> <ul style="list-style-type: none"> 梅田新歩道橋の美装化・耐震性の向上 敷地内通路の整備

（以上）

【添付資料】 [ご参考](#) 「梅田1丁目1番地計画」について

【ニュースリリース配付先】 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

ご参考 「梅田1丁目1番地計画（大阪梅田ツインタワーズ・サウス）」について

本計画では、大阪神ビルディングと新阪急ビルの建替とともに、周辺公共施設の整備を一体的に行うこととしており、都市機能の高度化、防災機能の強化、公共的な空間の創出、良好な景観の形成等を通じ、国際競争力の強化や省CO2に寄与する質の高いまちづくりを進めることを目指しています。

建替により誕生する「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」は、百貨店ゾーンとオフィスゾーンのほか、大小2つのホールを備えるカンファレンスゾーンからなり、2022年春に全体開業する予定です。

オフィスゾーンは、1フロア当たりの貸室面積が約3,500㎡となるほか、本ビルで働くオフィスワーカーのための専用フロア「WELLCO」（ウェルコ）を設置します。同フロアでは、適切な休息やオフィスワーカー同士の交流を通じた学びが、心身の調和と活力の向上をもたらし、創造性豊かな仕事につながる好循環を生み出すと考え、「よく休み、よく働き、よく学ぶ」ことができる機能を集積します。

また、壁面や屋上広場の緑化により都市環境の改善を目指すほか、本ビル周辺の歩行者空間の整備を行い、高齢者の方やお体の不自由な方をはじめ、多くの方々の快適性・利便性を高めます。

（大阪梅田ツインタワーズ・サウスの詳細：<https://www.hanshin.co.jp/twin-south/>）



外観(イメージ)



カフェ(イメージ)



フィットネス(イメージ)

	大阪梅田ツインタワーズ・サウス	
所在地	大阪市北区梅田1丁目1番 ほか	
敷地面積	約12,200㎡	
容積率	2,000%	
延床面積	約260,000㎡	
階数	地下3階、地上38階	
高さ	約190m	
主な用途	百貨店、オフィス、ホール等	
構造	鉄骨造（地下部：鉄骨鉄筋コンクリート造）	
竣工	2022年春（予定）	
施設構成	百貨店ゾーン	地下2階～地上9階 延床面積：約100,000㎡
	オフィスゾーン	地上11階～38階 延床面積：約143,000㎡
	カンファレンスゾーン	地上11階 延床面積：約4,000㎡
	その他（駐車場、共用通路等）	延床面積：約13,000㎡

（参考） 地上10階は機械室

（以上）